

ずっと自分らしく 暮らせる場所へ ～みよし市の高齢者支援～

本市では、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、さまざまな支援に取り組んでいます。今回の特集では、高齢者支援に関する情報をお届けします。

長寿介護課 ☎32-8009 FAX 34-3388

高齢者の暮らしを支える主な支援



介護保険

訪問介護

ホームヘルパーが家庭を訪問し、身体介護や生活援助を行います。



詳細はこちら



生活支援

日常生活の自立を助ける福祉用具の貸与や、購入費を一部支給します。



福祉サービス

配食支援

定期的に自宅を訪問して、栄養バランスの取れた食事をお届けします。



詳細はこちら



詳細はこちら

移動支援

65歳以上の人の外出促進のために、さんさんバス料金を全額助成します。

その他(一例)

- 生活の相談
- 紙おむつなどの支給
- 緊急通報システムの貸し出し
- 高齢者難聴用補聴器の費用助成



福祉サービス一覧



冊子「毎日を心豊かに介護保険」内に、介護認定の手順や利用できるサービスの一覧を掲載しています。下記でお受け取りください。

【配布場所】

- 市役所1階 長寿介護課
- 地域包括支援センター

頼れる味方 地域包括支援センター

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者やその家族が安心して暮らせるように、福祉・医療・介護などのさまざまな面から総合的に支援する場所です。令和4年度からおかよし地域・きたよし地域・なかよし地域・みなよし地域の4カ所に設置し、より身近な場所で相談できるように機能を強化しました。生活する上での不安や悩み事がある場合は、お住まいの地域にある地域包括支援センターを積極的にご活用ください。



詳細はこちら▼



地域包括
支援センター

きたよし地域包括支援センター
(ケアハウス寿睦苑内)

☎33-0791 FAX 33-0786

受付 平日8:30~17:30



おかよし地域包括支援センター
(カリヨンハウス1階)

☎33-4177 FAX 36-2878

受付 平日9:00~17:45



なかよし地域包括支援センター
(福祉センター内)

☎34-6811 FAX 34-5860

受付 平日8:30~17:15



みなよし地域包括支援センター
(市民病院内)

☎33-3502 FAX 33-3501

受付 平日8:30~17:15



センターでできること

一例

▼高齢者相談



▼ケアプランの作成



お気軽にご相談ください



▲社会福祉士 かとうあきえ 加藤彰恵さん

地域包括支援センターは、高齢期の暮らしを支える身近な相談窓口です。「最近物忘れが気になる」「介護保険ってどう使うの?」など、どんな小さなことでも構いません。専門スタッフが親身に対応します。お散歩のついでに、どうぞお気軽にお立ち寄りください。スタッフ一同お待ちしております。

新しい 認知症観を 知っていますか？



これまでの認知症観

認知症の人は何もできなくなり、周りの人から支えられるだけの存在とされていました。



何もできない…
この先大丈夫かな…

私たちががんばって
支えなきゃ…



新しい認知症観

認知症の人でもできること・やりたいことがあり、普段の生活や地域の中で役割を持ち、人とつながり支え合うことができます。



住んでいる地域に貢献
できてうれしいな

新しいことに挑戦して
みようかな

こんなことを大切にしましょう

本人の希望を聞く



本人の気持ちや、
やりたいことを一緒
に考えましょう。

できることを生かす



得意なことや好き
なことを地域の中で
生かしましょう。

つながりを続ける



地域の人とのつな
がり、生きがいに
つながります。

一緒に支え合う



誰もが自身の役割
を持ち、支え合う地
域を作りましょう。

国の方針

2024年1月に「認知症基本法」が施行され、国の「認知症施策推進基本計画」において「新しい認知症観」が示されました。

本市でも「新しい認知症観」の普及に取り組んでいきます

本市の認知症への取り組み

本市では、認知症の人やその家族が安心して暮らせるよう、さまざまな支援を実施しています。



認知症支援

詳細は25ページ



認知症カフェ



中央図書館での啓発活動

できないよりも やってみたいが あふれる生活を

本市の認知症希望大使に任命された柴山さんに、
お話を伺いました。

認知症希望大使とは

認知症当事者本人が、自らの経験や思いを
自身の言葉で発信し、認知症になっても自分
らしく希望を持って暮らせる社会の実現に向
け、普及啓発などに取り組む人のことです。



① 認知症と診断されて どう思われましたか

Q

A

「まさか自分が」と、最初はとても動揺しましたね。仕事を辞めないといけないのかなど不安なことがいっぱいありましたが、市役所の窓口で「今すぐ仕事は辞める必要はない」と言ってもらいホッとしたのを覚えています。

② 認知症の人と話す時の 注意点はありますか

Q

A

私の場合は、言葉が出てこないことが徐々に増えてきています。言葉が出てこなくなった時でも急かすことはしないで、認知症の人のペースに合わせることや、違う聞き方をしてみることが効果的だと思いますね。

③ 柴山さんの今の楽しみを 教えてください

Q

A

一番の楽しみは、小学生からずっと好きなギターですね。11月8日にイオン三好ショッピングセンターで開催される「きらきらシルバーフェス」にも出演予定なんです。その他にも、コーヒーを飲む時間もとても大切ですね。



シルバーフェス
ホームページ

④ 認知症に悩んでいる人へ 伝えたいことは



A

一番伝えたいのは、認知症は一人で抱え込むものではないということです。市役所や地域包括支援センターなど、相談を聞いてくれる場所や人は必ずいるので、まずは何でも相談してみることが大切だと思います。

